

2020年度日本医学教育学会 会員総会について

日本医学教育学会会員 各位

日本医学教育学会定款では、社員総会(代議員会)後に会員総会を開くこととなっていますが、本年度はCOVID-19パンデミックの影響で第52回大会を現地(鹿児島)開催できませんでしたので、学会ホームページを通じて会員の皆様に社員総会のご報告をいたします。

日本医学教育学会
第21期理事長 小西靖彦

記

本年度の社員総会は、COVID-19パンデミックの影響により第52回大会を現地(鹿児島)開催することができなかったため、法人法の規定および司法書士の助言に基づき、以下の方法で実施した。

- 1) 代議員に対し、審議資料をメール送付し、書面による決議を求めた。
- 2) 令和2年8月7日(金) 13:00~15:00 にウェブ代議員会を開催し、書面決議結果の報告と意見交換を行い、議決の確定を行った。

<ウェブ代議員会の概要>

開会

鈴木議長(20期理事長)から、新型コロナの影響により第52回大会が新しいスタイルで実施されたこと、学会機関誌「医学教育」緊急特集号の発刊、サイバーシンポジウムが開催されたこと、4年間の協力への謝意が述べられた。

小西21期理事長から、4年間鈴木理事長のもと福島副理事長と共に副理事長を務め、本学会が発展したこと、会員各位への謝意等が述べられた。

黙祷

議事に先立ち、過去1年間の物故会員について報告があり、黙祷を捧げた。

物故会員: 森忠三名誉会員、紀伊國猷三名誉会員、BARRON, J.P. 特別会員

議事

1. 出席者数、書面決議回答数の確認

福島20期庶務担当副理事長から、書面決議の回答数127名分、本日の出席者数71名と報告され、本代議員会は成立することが確認された。

2. 21期理事長報告「日本医学教育学会の目指すもの」

小西次期理事長から、21期としての活動方針について報告された。

3. 第1号議案: 理事・監事の選任について

小西次期理事長から、配布資料に基づき、理事長推薦理事を含む「第21期日本医学教育学会役員」が報告され、承認された。

4. 第2号議案:医学教育賞(牛場賞、日野原賞、懸田賞)の贈呈の件
福島 20 期庶務担当副理事長から、牛場賞には中村千賀子氏、日野原賞には大滝純司氏、錦織宏氏、懸田賞には春田淳志氏の受賞を決定したことが報告され、承認された。
5. 第3号議案:令和元年度決算、第4号議案:令和2年度予算
小西 20 期会計担当副理事長から、令和元年度決算について報告が行われ、併せて木下・伴両監事による監査を行った結果、定款ならびに法規に照らし、正確であることが理事会で報告されたと報告された。また、本学会の会計顧問であるアスト税理士法人にも本決算を確認している旨の説明が行われ、承認された。続いて平形 21 期会計担当副理事長から、令和2年度予算について説明があり、収入合計:63,603,000 円、支出合計:75,303,240 円、当期収支差額:-11,700,240 円で予算計上することが承認された。なお、赤字幅については旅費等の削減により、例年の決算では圧縮されている旨が説明された。
6. 第5号議案:役員選出規則の改定
福島 20 期庶務担当副理事長から、配布資料に基づき、理事選挙で選任された理事の任期期間中に辞任等あった場合の理事補充方法について、各選出方法の次点者を補充するように規則を変更すると説明があり、承認された。
7. 第52回大会報告
田川第52回大会実行委員長から第52回大会はオンライン、誌上開催に変更になった点について説明がされた。
8. 庶務報告
福島 20 期庶務担当副理事長から、令和2年5月までの会員動向について報告があった。5月末の会員数は個人会員 2467 名、学生会員 107 名、機関会員 302 機関、賛助会員 15 社、名誉会長 0 名、名誉会員 54 名、特別会員 46 名である。
9. 第20期各種委員会報告
福島 20 期庶務担当副理事長より、配布資料に基づき 20 期各種委員会の活動について報告が行われた。
10. 名誉会員・特別会員の推戴の件
福島 20 期庶務担当副理事長から、名誉会員として佐伯晴子氏、赤木美智男氏、特別会員として寺嶋吉保氏、犬塚裕樹氏が理事会で承認されたことが報告された。
11. 第21期各種委員会・部会について
小西次期理事長より、配布資料に基づき 21 期各種委員会・部会の構成について報告が行われた。
12. 第53回大会の予告
浅田第53回大会事務局から、スライド資料に基づき、令和3年7月30日、31日に自治医科大学において開催される予定であることが報告され、併せて基調テーマ(「活私開公」コロナ時代のグローバル医学教育)等について報告が行われた。
13. 第54回大会の予告
鯉淵第54回大会実行委員長から、令和4年8月5日、6日が第1候補、令和4年8月19日、20日を第2候補として G メッセ群馬において開催される予定であることが報告された。
14. その他(意見交換)
・卒前教育委員会でアクティブラーニングに関する動画を学会 HP 上に掲載していることがアナウンスされた。

- コロナ禍での医学教育を学会として提言してはどうかと意見があった。
- 5月末からサイバーシンポジウムをWeb上で開催したことが報告された。
- 医学教育誌において、コロナ禍の医学教育の特集号を組んだことが報告され、本特集号はJ-STAGEに発刊と同時にアップされ、会員でなくても閲覧可能とした。
- スチューデントドクターを公的化してはどうかと意見が出た。

以上